

<横浜市議員（旭区選出）古川なおきの市政活動報告>

第59号

2006年9月15日

一月刊



古川なおきレポート

古川レポート編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50
TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@furukawa2002.com

若者の就業問題について

秋の気配を感じる今日この頃、皆さんお元気でお過ごしのことと思います。

さて、横浜市区では9月定例会がスタートし、提案された議案について中田市長に質問しました。特に若年無業者の職業的自立の支援を目的とした「よこはま若者サポートステーション事業」について取り上げ質問しましたので、今回は「若者の就業問題」を特集したいと思います。

若年無業者とは、「就学・就業をしておらず、具体的な就職活動を行っていない概ね15歳から35歳未満の個人」と横浜市では呼ばれています。現在、横浜市は厚生労働省の「平成16年労働力調査」によれば、全国で64万人にもおのぼるとされており、横浜市においても推計では約2万2千人となっております。若年無業者も大問題です。

ニートになった理由としては長期景気低迷による失業者の増加や、「社会生活をうまくやっています。また、潜在化するSAD（※社会不安障害）が新たなニートを生み出しているともいわれています。

※1社会不安障害とは・・・他人に悪い評価を受けることや人目を浴びる行動への不安により強い苦痛を感じたり、身体症状が現れたりして、次第にそうした場面を避けるようになり、日常生活に支障をきたす障害のことをいいます。

これまで、対策としては国や県が「ヤングジョブスポット横浜」や「ジョブカフェ」等で総合相談や職業体験等の事業を行ってきました。しかしこの問題

は若者の内面的な心に問題があり、個人差もあることから、対策が難しいのが現状です。そこで、横浜市は、今回の定例会に「よこはま若者サポートステーション事業」を提案しました。

今までの対策と違うところは、就労支援機関だけでなく福祉保健機関や教育機関、ひきこもり若者に社会参加を促すNPO法人などと連携して、若者の自立支援を図っていくことです。

また、ひきこもりの保護者も対象にバックアップしていくことが主な特徴です。若年無業者対策は、治安や防犯などと同じように国や県に頼るだけではなく横浜市も積極的に関わって行く必要があります。コミュニケーションが上手くとれずにひきこもっている若者、働く意思はある若者、十分な教育や訓練を受けることができない若者など、若者たちを改めて社会的自立、職業的に自立に向けてチャンスをつくり、果を発揮させたいと思います。

ところで、私は事務所のインターンの大学生と一緒に活動しています。この夏は地元神奈川県立の大学生や慶応大学など11人の大学生が集まりました。「最近の若者は元気がないなあ」と感じてみる。しかし、よくよく考えてみると最近の大人も元気がないように思います。「最近の若者は・・・」と言う前に私たち大人が元気よく生き活きと社会で活躍している姿を若者に示さなければならぬと思います。

以前このレポートにも掲載させていただいた東京の郁文館学園（渡邊美樹理事長）では、中学生の時から「夢ノート」に将

来のあこがれの職業を書き留めることによつて、生徒たちは夢の実現に向けて生き活きと勉強しています。そこで、若者に対して私にも何かできることはないかと思ひ、大学生向けに様々な分野で活躍する社会人の話を聞く交流会を企画し、将来の職業を決める上での良い参考にしていただくとうとう「第1回キャリア・スクエア」を明治大学で開催しました。直接的にニート対策にはならないかもしれませんが、同世代の若者が生き活きと情熱を持って働くようになれば若年無業者の人も、自分も働いてみたいと思つてもらえるのではないかと考えています。

当日の運営はインターンの大学生を中心に行い、私の希望ヶ丘高校同級生の弁護士や歯科医師、以前私の事務所でもインターンをしていただいた商社マン、横浜銀行の同期で新規上場させた起業家などを講師にしたところ、50人の大学生が集まりました。みんな目を輝かせ、話を真剣に聞いていました。もつと多くの若者に働くことの楽しさ、充実感を感じてほしいと思います。働くことができるのに働かない若者は、本当にもつとないと感じます。一度しかない人生ですから、興味があることや夢に向かって、勇気を持って挑戦していただきたいと思います。

私たちもただニートの若者を嘆いているだけでは何も解決しません。横浜市の取り組みも始まりますが、私も周りの若者に対して、できることを行っていきます。

※「キャリア・スクエア」へご参加を希望される大学生は古川事務所へご連絡下さい。

横浜市議員 古川直季

横浜市版 若者の職業的自立支援の取り組み = よこはま若者サポートステーション (仮称)

概要	職業的自立に向けた総合相談や様々な事業を行う機関を設置します。
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・若者無業者が就労に向けて取り組むことのできる力をつけていくための支援を行います。 ・地域の様々な社会資源が機能を発揮し、連携しながら自立支援に取り組むためのネットワークを構築し、若者無業者の個別の状況に対応した包括的・継続的な支援体制の確立を目指します。 ・大人たちが若者無業者への理解を深めるための取り組みを実施します。
対象	総合相談については若者無業者および保護者を対象とします。 その他、学齢期を対象とした職業体験や、企業・市民活動団体等を対象とした普及啓発事業等を実施していきます。
場所	市内主要駅からの徒歩圏内での選定を予定しています。
開設時期	平成18年12月1日(予定)
実施手法	民間団体から運営主体を募集し、必要な経費を補助します。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・職業的自立に向けた総合相談、自立支援プログラムの作成・実施 ・体験機会の提供・事業の実施 ・学齢期対象の職業体験 ・保護者対象の講演会 等
その他	自立支援に関わる様々な事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な社会資源を活用した包括的な支援体制を確立し、職業的自立に向けた学齢期から青年期までの一貫した取組を行うための事業を、サポートステーション運営法人と本市が連携して行います。

横浜市内の青少年等を対象とした就労支援機関

支援機関名	設置団体	委託団体	対象年齢	事業内容
ヤングジョブスポットよこはま TEL: 045-317-2009	国 (厚生労働省)	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人雇用・能力開発機構神奈川センター ・NPO法人楠の木学園 	15~34歳	職業意識の醸成を図り、就職活動や就労へのきっかけづくりを行うための情報提供や相談対応、職業セミナー、短期のジョブトレーニングなどを行う。
かながわ若者就職支援センター (ジョブカフェ) TEL: 045-410-3357	県雇用産業人材課	(株)マンパワー	~34歳	就職希望者のためのキャリアカウンセリング、就職情報・職業訓練情報の提供、履歴書の書き方、面接の受け方セミナー等を行う。
よこはまヤングワークプラザ (ヤングハローワーク) TEL: 045-322-8609	厚生労働省職業職業安定局 公共職業安定所		~30歳 (学生除く)	就職相談。紹介を行う若者向けハローワーク。自己検索機による求人情報提供や就職のあっせんを行う。

古川なおきプロフィール

昭和43年8月31日横浜市生まれ 38才
 県立希望ヶ丘高校・明治大学卒業
 横浜銀行勤務後、議員秘書となる
 平成7年横浜市議員初当選(26才)
 平成17年度市民教育常任委員会委員
 同 大都市行財政制度特別委員会委員長
 自民党横浜市支部連合会青年局長
 日本動物福祉協会横浜支部支部長
 鶴ヶ峰商店街協同組合顧問
 希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会評議員
 旭区スポーツダンス協会顧問
 旭区サッカー協会顧問
 学校法人 八洲学園 理事
 NPO法人スクール・エイド・ジャパン理事
 卓球本間クラブ所属
 横浜青年会議所(JC)
 明治大学公共政策大学院在学中

明治大学マンドリン倶楽部 チャリティコンサートのご案内

日時: 2006年10月22日(日)
 開演 14:00
 会場: 神奈川県民ホール
 入場料: S席4000円 A席3000円
 出演: 明治大学マンドリン倶楽部 & OB
 指揮: 甲斐靖文(音楽監督、常任指揮者)
 萩原 亮(学生指揮者)
 ゲスト: 萩原かおり(二期会ソプラノ歌手)
 ジャン・ジェンフォア(二胡奏者)
 主催: 明治大学校友会横浜支部

お申し込みは古川なおき事務所へ!